医学図書館における JCR の利用と利用者教育： 岡山大学附属図書館鹿田分館の場合

寺 本 智 美*

岡山大学附属図書館鹿田分館

Teramoto T. (Shikata Medical Library of Okayama University. 2-5-1, Shikata-cho, Okayama 700, Japan) : JCR Users and Instruction for Users in the Shikata Medical Library of Okayama University. *Igaku Toshokan* 1997 ; 44(1) : 90-95.

“Journal Citation Reports”(JCR) is a database for the evaluation of journals. JCR was only available on microfiche until 1995, when it was made available on CD-ROM. This CD-ROM has a lot of advantages including sorting and filtering systems. Since 1996, users at the Shikata Medical Library have been able to use this CD-ROM. Researchers can make use of this CD-ROM for searching to contribute their papers for publication, and staff members of the library can make use of this CD-ROM to search for journals requested by users. As this CD-ROM had been known to only a few staff members in the Okayama University Medical School, further explanation and information about this CD-ROM was required for users. According to the questionnaires, it was found that many of the researchers had no opportunity to make use of this CD-ROM, although they had wanted to use it. Our survey has also revealed that researchers who have used this CD-ROM find it convenient, especially because they are able to make their own personal ranking list of the data they wish to obtain. Therefore, as librarians, it is important for us to make a greater effort to advertise this CD-ROM so that it may be used by as many researchers as possible, and for us to study new methods for use and application of this CD-ROM.

I. はじめに

JCR (Journal of Citation Reports) は学術雑誌の引用データをもとに作成された、インパクト・ファクターを始めとする様々な指数が調べられる、雑誌評価のための資料である。

1995 年末にこの JCR の CD-ROM 版が登場し、岡山大学附属図書館鹿田分館（医学図書館）でも 1996 年度から自然科学編を購入している。

岡山大学内ではこの CD-ROM についてはあま

り知られていなかったため、案内や操作方法についての利用者教育を行う必要があった。ここでは特に CD-ROM 版の JCR について、鹿田分館における利用と利用者教育について報告していきたい。

II. JCR (Journal of Citation Reports) について

“Journal of Citation Reports” の自然科学編は世界の 4,500 種類以上の自然科学分野の学術雑誌に収録された論文引用データをもとに作成された雑誌評価のためのデータベースである。インパ

*Tomomi TERAMOTO : 〒700 岡山市鹿田町2-5-1.

(1996 年 12 月 12 日 受理)

クト・ファクター（文献引用影響率。その雑誌の論文が前年2年間に引用された引用回数の平均）を始めとする様々な指数が調べられ、もちろん絶対的なものではないが、雑誌評価の参考となる。

CD-ROM 版は Windows 版で、主な操作は画面上のツールバーのボタンをクリックすることで行う（図1）。

CD-ROM 版ならではの機能としては、フィルター機能やソート機能というものがある。フィルター機能とは絞り込みの機能で、分野や出版社、出版国などでの絞り込みができる。また、ソート機能とは並べ替えの機能で、雑誌名順やインパクト・ファクター順などでの並べ替えができる。この2つの機能を併用することにより、例えば必要な分野や雑誌だけを選んで、インパクト・ファク

ター順に並べ替えるなど、個人の必要に合わせた独自の一覧表の作成が可能である。データはプリントアウトはもちろん、ダウンロードして Excel や Lotus1-2-3 などのソフトで加工することもできる。

また、それぞれの雑誌がどのような雑誌を引用しているのかや、逆に引用されているのか、といった雑誌ごとのデータも充実している。このほか、インパクト・ファクターなどの計算式がそれぞれの雑誌別に見ることができるなど、CD-ROM 版のみの機能も多い。

Ⅲ. 鹿田分館における利用

実際にこの JCR の CD-ROM 版がどのように

Rank	Journal Abbreviation	ISSN	1994 Total Cites	Impact Factor	Immediacy Index	1994 Articles	Cited Half-Life
1	AAPG BULL	0149-1423	3804	1.658	0.258	93	> 10.0
2	ABDOM IMAGING	0942-8925	65	0.516	0.115	139	
3	ABH MATH SEM HAMBURG	0025-5858	189	0.225	0.045	22	> 10.0
4	ABSTR PAP AM CHEM S	0065-7727	44	8.000	0.000	0	
5	ACAD MED	1040-2446	1114	1.124	0.248	249	2.9
6	ACAROLOGIA	0044-586X	142	0.013	0.030	33	> 10.0
7	ACCOUNTS CHEM RES	0001-4842	9380	9.126	1.160	56	8.2
8	ACH-MODELS CHEM	1217-8969	1	0.000	0.045	22	
9	ACI MATER J	0889-325X	221	0.333	0.196	61	4.0
10	ACI STRUCT J	0889-3241	213	0.371	0.084	71	4.4
11	ACM COMPUT SURV	0360-0300	444	0.000	0.125	8	9.7
12	ACM T COMPUT SYST	0734-2071	425	1.538	0.125	8	7.5
13	ACM T DATABASE SYST	0362-5915	671	1.128	0.076	13	> 10.0
14	ACM T GRAPHIC	0730-0301	261	1.361	0.333	12	5.9
15	ACM T INFORM SYST	0734-2047	316	1.063	0.058	17	6.1
16	ACM T MATH SOFTWARE	0098-3500	685	0.543	0.238	21	> 10.0

- ① ISSN：国際標準逐次刊行物番号。雑誌ごとに付与される番号。雑誌の特定に有効。
- ② 1994 Total Cites（被引用総数）：創刊から1994年までの論文が引用された件数。
- ③ Impact Factor：文献引用影響率。
- ④ Immediacy Index：最新文献指数。
- ⑤ 1994 Articles：この雑誌の1994年中に掲載された論文の総数。
- ⑥ Cites Half-Life：被引用半減期。

図1. JCR 基本表示画面

利用されているか、利用者のそれぞれの立場別に鹿田分館での利用例を以下にあげる。

1. 研究者

- 論文を投稿する際の雑誌選択
- 業績評価
- 論文評価
- 雑誌のレベルの判断材料
- 購読雑誌の検討

2. 図書館

- 購入雑誌を決定する際の参考
(教室から複数希望が出たときに絞り込むのに利用した)
- 過去2年間の誌名変更の確認

3. 事務(人事係)

- 人事選考の際の業績評価の参考

IV. CD-ROM 版の特徴

次に CD-ROM 版の特徴について考えていきたい。鹿田分館では CD-ROM を購入するまでは、コピーした一覧表を備え付け、利用に供していた。

JCR の CD-ROM 版を利用した人に感想を尋ねたところ、次のような意見があった。

1. 使いやすい点

- 自分の必要なものだけピックアップできる(独自のリストが作成できる)
- Category で自分の必要な領域のみプリントアウトできる

使い方としては、やはりフィルターをかけて必要な分野に絞り込み、さらにインパクト・ファクター順でソートをかける、という人が多かった。

2. 使いにくい点

- 反応が遅点(図書館のパソコンのハード面の問題と思われる)

- Macintosh になれているので、Windows 版にとまどった

インパクト・ファクターを調べるだけなら一覧表のコピーを見るほうが手軽である、という意見もあった。これは、1 階のカウンターで CD-ROM を借りて、2 階の検索コーナーまで行き、パソコンを立ち上げて利用する、というのが面倒と感じるのではないだろうか。また、医学関係の研究者は Macintosh を使っている人が多いことから、機種が Windows 版であるということもネックになっているように思える。

実際に利用してみると操作は簡単なのだが、パソコンと聞いて敬遠している利用者もいるのではないだろうか。

このほかの意見として、研究室から LAN 経由で利用したい、という希望もあった。

V. 鹿田における利用者教育

鹿田分館では毎年4月に医学部・歯学部の大学院の新入生(希望者)を対象として二次資料についてのガイダンスを行っている。その中でインパクト・ファクターの説明と JCR の CD-ROM の紹介も行ったが、大学内全体では CD-ROM はあまり知られていなかったため、案内や操作説明などのガイダンスを行う必要があった。

1. 案内と個別ガイダンス

このため、7月に鹿田分館の広報誌「としょかんつうしん」(図2)でこの JCR の CD-ROM の紹介とガイダンスの案内を行った。

この「としょかんつうしん」は鹿田分館のお知らせを A4 サイズ一枚程度にまとめた簡単なニュースレターで、今年から不定期に鹿田地区を対象に

としょかんつうしん

No.12 '96.10.9

鹿田分館発

JCRのガイダンスを行います

これまでもお知らせしてきましたように鹿田分館ではJCR (Journal Citation Reports) のCD-ROM版を今年から購入しています。

Journal Citation Reports (Science Edition) は自然科学分野の雑誌 4,500誌のインパクト・ファクター※を始めとする論文引用データを調べられます。

ある雑誌がどれくらい他の雑誌に引用されているか、など雑誌評価の一つの手がかりとなります。

CD-ROM版では分野別・出版社別・国別等、自分独自の一覧の作成が可能です。(雑誌の選択やソートもできます。) Windows版ですので操作は簡単です。また、データをダウンロードしてExcelやLotus1-2-3などでの加工もできます。

論文投稿の際の雑誌選定や、雑誌を購入される際の参考にご利用ください。

このJCRのガイダンスを行います。是非ご参加ください。

日時：10月23日(水) 14:00～

申込：前日までにカウンター(内線7055)へお申し込みください。

場所：図書館2Fリサーチフロア

(旧アクタ編集室、グループ研究室隣)

定員：10人以内

※ インパクト・ファクター：被引用回数を雑誌の過去2年間に掲載された論文数で割った値。雑誌に掲載された論文が他の研究者に対してどの程度の影響力を持っているかを示す一つの目安となる。

岡山大学附属図書館鹿田分館 〒700 岡山市鹿田町2-5-1
TEL: 086-223-7151 (内7055) e-mail: teramoto@shililiews1.okayama-u.ac.jp

図2. としょかんつうしん

配布している。配布方法は最初、各教室の図書委員(各教室に1人)に電子メールで送り、教室内への掲示または回覧をお願いしていた。しかし、実際にはこれだけでは連絡が行き届いていないようであったので、現在はさらにプリントアウトしたものを各教室に配布し、併せて各学部の掲示板へ掲示をお願いしている。また、最近希望者には個人宛てで電子メールで送付するサービスも始めた。この「としょかんつうしん」は岡山大学附属

図書館のホームページ(URL <http://www.okayama-u.ac.jp/>)の「分館のページ」の中「鹿田分館のページ」で読むことができる。

その結果、7月から8月にかけて10人程度のガイダンスの利用があった。ガイダンスは特に日時を決めず、希望者にカウンターへ申し込んでもらい、そのつどカウンター職員が個別にCD-ROMの操作方法を中心に説明を行った。

2. アンケート調査

個別ガイダンスと並行して、7月末にJCRのCD-ROMに関するアンケート調査を行った。アンケートは鹿田地区の大学院生以上の研究者を対象に行った(図3)。

このアンケート調査では、7割の人がインパクト・ファクターという言葉を知っており、何かの参考にしたことがある、とした人は4割弱であった。

年齢別には、年齢が高くなるほどインパクト・ファクターを参考にしたことがあるという人の割合が高く、40代以上では7～8割の人が何らかの参考にしたことがある、と答えていた。一方、20代ではインパクト・ファクターという言葉を知っている人が5割弱、参考にしたことがある、と答えた人は3割程度であり、年齢でかなり差が出た。

知っている人が5割弱、参考にしたことがある、と答えた人は3割程度であり、年齢でかなり差が出た。

しかし、インパクト・ファクターを調べられるJCRのCD-ROM版が図書館にあることを知っている人は3割で、さらにガイダンスを行っていることを知っている人はわずか14%しかいなかった。

3. 再度の案内とガイダンス

アンケート調査の結果広報不足の実態が明らかになったので、10月上旬再度「としょかんつうしん」でCD-ROMの案内を行った。「としょかんつうしん」の掲示枚数も増やしてみた。

7月末に実施したCD-ROM版JCRについてのアンケートは岡山大学鹿田地区(医学部キャンパス)で、大学院生以上の研究者を対象として行った。

回収率は45%で、494枚配布中、221枚を回収した。(この中には配布したもの以外にコピーして回答してもらったものも含む)

学部別 医学部 75/293人(26%) 歯学部 136/156人(86%)

医療短大 10/45人(22%)

年齢別 20代-72人 30代-100人 40代-30人 50代-15人

60代-4人

<インパクト・ファクターという言葉を知っているか>

「知っている」 158人(71%)

「聞いたことがあるが知らない」または「聞いたことがない」 63人(29%)
年齢層が高いほど「知っている」と答えた人の割合は高かった。

<インパクト・ファクターを何かの参考にしたことがあるか>

「ある」 80人(36%)

主なものは「論文を投稿する雑誌を決定する参考」や「業績評価」など。

<インパクト・ファクターを調べられるCD-ROMが図書館にあることを知っているか>

「知っている」 67人(30%)

「知らない」 154人(70%)

<ガイダンスを図書館で行っていることを知っているか>

「知っている」 32人(14%)

「知らない」 189人(86%)

<CD-ROMを利用してみたいかどうか>

「利用してみたい」 173(81%)

図3. アンケート調査結果

また、それまで個別に行っていたガイダンスを日時を決めて10月に行った。ガイダンスの案内は「としょかんつうしん」と掲示で行った。申込は前日までの予約制にしたところ、6名の予約があり、当日は5名の参加があった。

ガイダンスは所要時間が1時間程度で、内容はJCRについての概略、インパクト・ファクター等の指数の説明、操作の説明、実習であった。

VI. 今後の課題

アンケート調査では、このCD-ROMを使ってみたい、と答えた人は8割にものぼるのに対し、実際に利用した人は11月までで20人程度と少ない。この原因として、広報不足と、利用者にCD-ROM版の長所があまり知られていない点があげられるのではないだろうか。コピーしたものとCD-ROM版の両方を利用したことのある人の多くは、CD-ROMのほうが個人の必要に応じた使い方ができるという点で使いやすい、と答えているが、その一方で、単にインパクト・ファクターを調べるだけならコピーしたもののほうが手軽、との意見もある。実際CD-ROM版を購入してからコピーの一覧表を利用する人が多い。

今後の課題としては、広報と、CD-ROM版ならではの新たな使い道の開拓、という2点があげられる。

広報の点では、「としょかんつうしん」の配布方法の再考、ガイダンスの実施、などが考えられる。また、年齢層の若い研究者にとっては、インパクト・ファクターという言葉自体がそれほど馴染みがないのではないかと思われるので、CD-ROMの操作以前に様々な指数の説明とその利用方法を紹介する機会を設けていきたい。

一方、あらたな使い道、という点では、図書館職員もまだ勉強不足な状態なので、もっとほかにCD-ROMの特徴を生かした利用方法がないか研究していく必要がある。

コピーしたものとCD-ROM版とどちらも便利な点があるので、今後も場合によってはプリントアウトしたものもカウンターへ備え付け、用途によって使い分けるよう利用者に促していきたい。

インパクト・ファクターの数値を過信することはよくないかもしれないが、JCRは雑誌評価のためのユニークなデータベースで、雑誌のレベルを考えるうえで参考になる。このJCRのCD-ROMはインパクト・ファクターを調べるだけでなく、使い方によっては様々な用途に使えるので、今後もさらに利用の拡大を図っていきたいと思う。

参考文献

- 1) 棚橋佳子. JCR:Journal of Citation Reports CD-ROM版. 医学図書館 1996; 43(1): 128-9.
- 2) ISI社 セミナー資料. ISIジャパン.
- 3) JCR "Quick Reference Guide" ISI, 1995.